

さらさらに加速

学校の体育館に エアコンがつく。

学校の体育館は、子どもにとってはもちろん、地域の避難所としても大切です。ところが、都内の学校体育館のエアコン設置率はまだ10%以下です。

「猛暑、寒さをしのぐにはエアコンの設置が不可欠」と、共産党都議団は、質問・条例提案・申し入れで東京都にくり返し、はたらきかけてきました。

今議会では、小中学校への設置補助や都立高校への設置などを内容とする補正予算が提案され、全会一致で可決しました。大きく加速します。

東京都が区市町村の支援に動くなか、新たに学校体育館へのエアコン設置を決めた自治体もあります。同時に、重要性を認識しながらも設置にふみきれない自治体もあり、都として支援を抜本的に強化する必要があります。



共産党都議団の

代表質問に
都が答弁

都立高校

3年以内に全校を目標

小中学校

手厚い補助で整備を促進

都は補正予算で538校分を計上。財政力の小さい区市町村も取り組めるよう、来年度以降も同様の補助率を継続すべきだ、と共産党都議団として求めたところ、小池知事も「検討する」と表明しました。

今年度の補助割合

(都の上限7.6万円/m²まで補助した場合)

都

約51%

国

約11%

区市町村

約38%